



岩松小学校だより



学校だより 第10号

令和8年6月5日発行

発行者 校長 真子靖弘

君はどんなわくわくを創れるか？～6月の校長講話～

「君はどんなわくわくを創れるか？」——6/1(月)の全校集会で、私は子どもたちにこう問いかけました。目指すのは、指示を待つのではなく、**子どもたちが主語となって動く「楽しい学校」**です。

みんなの笑顔のためなら、先生たちは全力で応援し、時間も作ります。講話では、時間を生み出して「全校才能フェス！」を開くアイデアや、その前段階として「人を傷つけない」「3分以内」といったルール決めやオーディションの大切さを話しました。さらに、運動が苦手な人でもワクワクできる運動会の新種目の例なども紹介すると、子どもたちの目が一気に輝きました。

集会後の感想には、頼もしい言葉が並んでいました。「楽しい学校だったらみんながうれしい(2年)」「どんどん楽しい学校にしていきたい(4年)」「みんなの笑顔を増やせるように頑張ります(5年)」。

そして最高学年からは「私、企画してみたいと思いました(6年)」という力強い宣言も飛び出しました。(1年生の「むずかしかった!」という率直な声も微笑ましい限りです)。

子どもたちの自由で柔軟な発想力と、一步を踏み出す行動力で、学校がどんな風に生まれ変わっていくのか。子どもたちが創り出す「わくわく」の未来を、ぜひ一緒に見守ってください。

響き合う「あいさつ魂」!

子どもたちは毎朝、企画・運営委員会や6年生を中心に語先後礼の挨拶運動を頑張っています。児童玄関の掲示板下には「あいさつ魂」コーナーも作られました。先週からは、お昼の放送で「先生たちが挨拶されて嬉しかったエピソードコーナー」が始まっています。「朝、元気なあいさつで気分が晴れました!」「廊下ですれ違う『こんにちは!』も素敵」といった先生方の声が紹介されています。



育友会×健康委員会のコラボ作戦会議!

「どうしたらプールにたくさん行ってくれるかな?」——6/2(火)の委員会活動の時間、健康委員会の話し合いの場に育友会執行部の嘉村さん、岸川さん、福野さんの姿がありました。育友会が用意して下さる「夏休みのプール利用券」の活用率アップを目指し、大人と子どもが本気でアイデアを出し合う**コラボ作戦会議**が開催されたのです。

子どもたちの発想は実に豊かでした。「アイルの楽しいところを紹介する!」というアイデアに加え、「利用率ナンバーワンのクラスは、2学期最初の体育を好きな内容にできるご褒美を作ろう!」というユニークな提案も。これには育友会の皆さんも目を細めて感心されていました。これから夏休みに向け、健康委員会による全校への楽しいアプローチが始まります。

ちなみに、平松病院からアイルまでは公共バス(子ども100円)が利用できます。自分たちで運賃を払ってバスに乗る経験も、夏休みならではの小さくて大きな大冒険(社会経験)になりそうです。子ども、保護者、そして学校が主体となって未来をつくる、そんな温かい連携の強さを感じる素晴らしい時間となりました。



自分を守る「安心・自信・自由」の権利

6/1(月)、3・4年生を対象に「CAP(子どもへの暴力防止)研修」を実施しました。いじめや虐待などの暴力から子どもの心と体を守る、参加型の人権教育プログラムです。

研修では暴力防止を「人権侵害」と捉え、子ども自身が持つ「安心・自信・自由」の権利や、身を守るための対処スキルを学びます。子どもたちは身近な事例を扱った寸劇(ロールプレイ)などを通じて、具体的な自己防衛の方法や、信頼して相談できる大人を見つける大切さを実践的に学びました。

